



泉だより

IZUMI・DAYORI



2021.3.1 VOL.41

発行元



社会福祉法人 泉学園

Social welfare corporation IZUMIGAKUEN

〒702-8026 岡山市南区浦安本町190番地
TEL (086) 264-2882

発行人 岡崎 イツヨ

今春、「デイセンターなすな赤磐」OPEN!!

共生社会のあるべき姿に向けて—



完成予想図

(巻頭言)

「デイセンターなすな 赤磐開所に向けて」

デイセンターなすな 管理者 小林 三重子

遡ること今から14年余り前、瀬戸町健康福祉の館3階の半分のスペースをお借りして、身体障害者デイサービス事業として開所した「なすな」でした。当初4名の利用者の方をお迎えしたものの、日々が新しい発見で、ひと時ひと時が気づきと学びの連続でした。利用される方も今は30名となり、平成25年に開所した玉柏の「なすな」と合わせると、約70名の方に来て頂いております。

一昨年の赤磐市の保育園跡地有効利用に向けたプロポーザルに応募し、3,000㎡もの土地を無償でお借りすることができたことで、「デイセンターなすな瀬戸」は新たに「デイセンターなすな赤磐」として生まれ変わり引き継がれることとなりました。昨年8月、赤磐市長様を始め担当部局の方々、地元町内会役員の方々にも参加頂き、安全祈願祭を執り行い、この春4月の開所に向けて建築の方も計画通り進んでおります。現「なすな瀬戸」利用者の方とはもとより、新卒の方や地元在住の利用希望の方々を温かくお迎えできたら、と準備を進めています。

「デイセンターなすな赤磐」と命名された生活介護事業を始め、児童発達支援・放課後等デイサービスは「いちばんぼし」、短期入所事業は「輪家(わかか)」という名称でスタートの予定です。また、現在の瀬戸相談が相談支援事業所「のどか」として同じく再スタート致します。これまでの重症心身障がいの方を始めとした日中活動支援に合わせて、短期入所事業で夜間や休日の支援を考えていきたいと思っております。未就学児や学童の放課後等の療育にも取り組んでいく予定です。常に学ぶ姿勢を忘れず研鑽に努め、なすなならではの特色を生かしていくことが出来ればと考えています。

この度お世話になる赤磐市町苅田は、社会福祉事業家として歴史的にも知られる山本徳一氏が戦前戦後を通して活動された福祉の由緒ある地域で、同氏が開設された児童養護施設「天心寮」が隣接しています。また、近い将来には重度の方を対象としたグループホームも同地に開設する予定です。

重い障がいがある方も、地域社会の一員として生きがいを持って自らの人生を生きていく、文字通り共生社会のあるべき姿に向けて関係する皆さんと共に歩んでいきたいと思っております。



【泉学園の就労継続支援事業所紹介!】

現在、泉学園ではA型事業所ネイチャーファームで就労継続支援、さくら、ちどり、桑野ワークプラザで就労継続支援B型事業に取り組んでいます。今回はそういった各事業所の商品を紹介したいと思います。少しでも多くの皆様にご覧いただき、利用者の想いのこもった商品の売り上げアップに繋がってけると嬉しいです。

就労事業所
コロナに負けず
頑張ってます

障がい者 デイセンター さくら

「スイーツ班」

新型コロナウイルスの影響により売り上げが落ちてしまふことがありましたが、ご利用者のご家族や地域の方などからたくさん注文のおかげで売上アップに繋げることが出来ました。



これから職場での異動のシーズンを迎えることにより、挨拶代わり用の焼き菓子の注文が増えるのではと思っております。チームワークを高めてより一層製造に力を入れ、売り上げに貢献していきたいと思っております。
(秋原 さつき)



「カフェ つみ木」

去年はコロナ禍の中、厳しい営業を余儀なくされましたが、感染症予防策を行ないお客様に安心していただけるお作りを行なっています。



12月と1月にクリスマス用のお

弁当やクリスマス会の貸切のご依頼、お正月用のお弁当注文をいた

だきました。行事などでお弁当が入用の際は、お声掛けいただければご予算の範囲内で貸切や配達も対応させていただきますので、お気軽にご相談下さい。



クリスマス用の特注弁当です



ワークショップちどり

(熊代 徹)



牛乳パックを、公民館をはじめ地域の皆様から回収し、再生紙を原料とした紙製品の中でも一押し商品「カレンダー」の販売に力を入れました。月に一回クラブ活動「絵手紙」の活動時間にご利用者の皆さんが一生懸命描かれたものを挿絵として使用しています。ほ

っこり温かみのある絵を沢山使用しています。

使い終わった「カレンダー」はカットすると絵手紙はがきとして使用できる優れたものです。毎年11月より販売しておりますので、是非お買い求め下さい!

他にも「押し花はがき」五枚入り六〇〇円が人気です。単品ですと一枚一五〇円ですので一枚お得な商品となっております。押し花の新しいアイディアを頂きたいのでお花付けのボランティア大募集中です。

(奥名 菊枝)

ネイチャーファーム

お客様に喜んで頂くことを励みに日々パンを焼いて、花を育てることに邁進してきた当事業所にとって、コロナ禍の影響は甚大なもので、バザーやイベント等はほぼ中止となりました。通常の販路も大幅に縮小され、A型事業所とし



ての運営的には大変厳しい状況ではあります。しかしながら、制約の多い日常の中でも、日々の作業に明るく元気に取り組んでいる従業員を前にして、悲観してばかりはいられません。

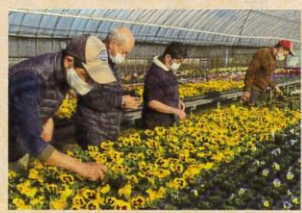
これを原点に立ち返る好機と捉え、日頃の忙しさで看過していた生産や販売過程の見直し、従業員への生活支援及び技術指導等、前向きに取り組んでいます。

当たり前と思っていた日常は一変してしまいました。このごたわりの厳選素材のみを使用し、心を込めて焼き上げるパンづくり、土づくりから始め、手間を惜しみます育てる四季折々の花づくりへの思いと姿勢は変わることはありません。丑年にあやかり、我慢し耐えることが良いことの前触れと信じ、従業員と共に、先を急がず一歩一歩着実に目の前のことを進めていきたいと思えます。

(中島 理恵)

桑野ワークプラザ

今年度はコロナ禍の中で、受注の中心になっているバザーの中止を余儀なくされ、また不要不急の外出自粛などによって取引先への納品も極端に減りました。昨年通りとは言えませんが、皆で考え新商品を作ったり、フレンドリー利



用者さんに色彩がとても綺麗なアマビエの絵を描いて頂き、コロナ鎮静化を願って、そのカードを入れたクッキーセットを作りました。ご家族からもご支援、ご協力を頂きながら、沢山の販売を行なうことが出来ました。

このような状況下でも、新たな経験や出来事に触れる機会もありますので、これからもみんなでアイディアを出しながら色々なことにチャレンジしていきたいと思えます。
(本所 正江)



アラカルト 各100円

デイセンターなぞな



アマビエ

「ハロウィン」ならぬ「仮装大Show」をしました!

今年度は10月31日が土曜日だったこともあり、11月に入ってから「ハロウィン」を「仮装大Show!」として取り組みました。グループごとで打ち合わせたり、秘密裏に準備する等、思い思いのテーマで仮装をして出来栄を競いました。

流行りの「鬼滅の刃」であったり、「コロナ禍を憂う疫病退散の妖怪『アマビエ』も登場。今年はお家族と一緒に楽しむことが出来なかったことが残念でしたが、思い思いの凝った仮装で接戦となり、みんなでワイワイと楽しいひとときを過ごしました。

(小林 三重子)



泉の園

イズミマートへようこそ



新型コロナウイルス感染症防止という観点から、色々な活動を自粛しなければならぬ状況にあり、泉の園でも日中活動・行事等の中止・自粛が続いています。そこで、「コロナ禍でも何かできることはないか、塞ぎ込んだ気持ちを少しでも明るくできないか」と考え、「コロナに負けるな!」という思いを込めたイベントを開催することになりました。

その中の一つとして、多目的ホールをコンビニエンスストアに見立て、模擬店「イズミマート」を出店しました。事前に好きなお菓子やジュースのアンケートを取り、たくさんのお菓子とジュースを陳列してゆっくり買物を楽しめるようにしました。入店時に鳴るBGMが流れていく中で手指消毒を行い、ソーシャルディスタンスが保てるよう配慮しました。利用者の方からはとても好評で、「またイズミマート開いてね」と言ってお下さる方もいました。

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻ることを願っています。

(湯浅 清)



編集委員の「気になる人に聞いてみた!」



泉だよりの編集委員が、法人内の気になる方にインタビューをさせて頂くコーナーです。今回インタビューに応じて下さったのはデイセンターさくらの北村さん。今回の記事では、福祉の仕事に携わってもうすぐ20年になる北村さんの「やりがい」の話題からスタートです。

■「自身が『こいつってこにやりがいを感じる』とか『こいつってこがあるから続けてこれているのか』と思ってることはありますか。

■10年間の様々な現場で「この仕事に就いてよかった」と思ったり、この仕事の難しさを感じたり、考えることをあきらめないことの大切さを感じたり「色々と思うんです。

■「こいつってこがあるから」とか、「自分はそこまで考えられてなかったな」とか、「教えてもらったことに対してもっと考えてみよう」とか、そういう発想にながっていったんです。また、教えて下さった人達一人一人に目標があって、その目標に向かって挑み続ける姿勢を見せられても良かったことも、今振り返ると大きな原動力になっていると思います。

■「こいつってこがあるから」とか、「自分はそこまで考えられてなかったな」とか、「教えてもらったことに対してもっと考えてみよう」とか、そういう発想にながっていったんです。また、教えて下さった人達一人一人に目標があって、その目標に向かって挑み続ける姿勢を見せられても良かったことも、今振り返ると大きな原動力になっていると思います。

■数えればきりがなくいろいろなエピソードがあるのですが、立ち話の中で「北村くんは子どもができたらもっと変わるよ」という言葉をかけてくれた上司がいたんです。その場面を今でもすごく鮮明に覚えています。

■それだけ印象に残っている出来事なんです。

■聞いた時には正直ピンとこなかったんです。でもその後、この言葉と自分の考えの点と点が結ばれた瞬間があったんです。それは自分の子どもが0歳とか1歳の子供のことで、夜中に体調を崩しちゃったんです。もうすごく泣いて。子どもが泣き叫ぶ様子を見ていると、思いがけない自分のふがいなさでどんどん胸が苦しくなりました。抱きしめることしかできないと思います。キユーってしてました。そういう日が何日あったんです。

■その経験を経て、北村さんの心境の変化というが、福祉の仕事についての関わり方の変化も出てきたんですか?

■辛さを出していることをただただ受け止めることしかできなかった自分がいて。でも、受け止めることから何かできるんじゃないかということをもっと考えるようになっていきました。人の辛さや苦しみを自分のことのように考え、受けとめていくことから人を大切にすることが始まっていくのかなあと感じて。そこから自分は何ができるのかなあと考えることになったんです。利用されている人はもちろん、その家族、共に支援をするスタッフや関係機関の方々など、みんなそれぞれの人生があって、辛さとか、苦しさはそれぞれで。全部はできないとしても受け止めていかなければ、自分でできることを考える。それを支援という形で行動していけたらいいんだなあと。そう思ったことを積み重ねていくことが、この先の色々な笑顔につながっていくんだろかなと今思っています。そう思うとじゃあ今頑張ろうか、できることはやってみようという自分のモチベーションにつながっているように感じます。

※現在の北村さんは思いを伝える役割も意識しておられるようです。もっとためになるワードもたくさん。興味のある方はぜひ北村さんに直接聞いてみてください。(香川 正憲)



共同募金配分の御礼

ルミミ



令和2年5月、さくらの送迎車に新しい仲間が加まりました。その名はトヨタルーミー。「赤い羽根共同募金」からの配分金で購入させていただきました。ご利用者の間では「ルミちゃん」という愛称がついているようです。

この車はコンパクトですが室内は広く、低床スライドドアの採用で乗り降りがとても楽に行えるようになってきています。また安全機能も充実していて、走行中に道路のセンターラインやサイドに寄りすぎるとアラーム音が知らせてくれます。初めて乗った時には何の音かわからずびびくりしましたが、送迎や外出に大活躍のルミちゃん。安全運転で大切に乗りたいと思います。どうもありがとうございます。(西田 裕司)

ご寄附による冷蔵庫の購入に関する御礼



令和2年4月、岡山南ライオンズクラブ様、松野建設株式会社様よりご寄附を頂き、桑野ワークプ

ラザのクッキーハウスの冷蔵庫を購入させて頂きました。クッキー作りがはかどり、とても助かっています。本当にありがとうございます。これからも大切に使用させて頂きます。(名越 宗一)

助成金の御礼

今年度も公益信託梶谷福祉基金の助成金を頂き、11月18日から12月16日にかけて泉の園のみんなで岡山市サウスビレッジに一日社会体験旅行へ行ってきました。

イガヤガヤ...というわけにはいかず、少人数ずつで消毒や手洗い等の感染予防を徹底しながらの旅行でしたが、久しぶりの外での行事



イガヤガヤ...というわけにはいかず、少人数ずつで消毒や手洗い等の感染予防を徹底しながらの旅行でしたが、久しぶりの外での行事ということもあり、みなさん楽しみにされていました。また、外出したどの日も天候に恵まれており、現地では気持ちの良い散策や食事等が行なえました。

普段とは違った場所での散策にワクワクしたり、パラソル付きのテーブルやベンチに座っておいしいお弁当を食べるなど、利用者の皆さんも職員もたくさんの笑顔が見られました。

今年度はコロナの影響で例年行なっていた行事が中止となっていました。まいったが、今年度の一日社会体験旅行でもとても楽しそうに過ごされてお



気分も開放的になってリフレッシュできたと思います。こういった行事は有意義で貴重な経験であると改めて感じました。

職員の異動等について

ご支援を賜りました関係者の皆様方、本当にありがとうございました。(高野 達也)

【退職】

お世話になりました。今後の皆さんの活躍をお祈りいたします。

〈泉の園〉

▼藤原いつかさん(～R2 9月30日付)

▼河邊真太郎さん(～R2 10月31日付)

▼安部泰悟さん(～R2 11月1日付)

▼仲原加奈子さん(～R2 12月31日付)

▼松崎光治さん(～R2 12月31日付)

〈泉学園共同生活援助事業所〉

▼林 桂子さん(～R2 8月31日付)

〈ちどり〉

▼木村広美さん(～R2 9月30日付)

▼赤川ちひろさん(～R2 11月30日付)

▼柳澤弘子さん(～R3 1月31日付)

〈なすな瀬戸〉

▼水内 祐子さん(～R2 9月30日付)

▼楠戸 崇由さん(～R2 12月31日付)

【新任職員】

泉の園 生活支援員
鈴木 和希 (R2 9月14日)

泉の園 生活支援員
岡 晃弘 (R2 12月1日)

泉学園共同生活援助
岩井 直樹 (R2 7月20日)

泉学園共同生活援助
若林 夏美 (R2 10月1日)

桑野フレンドリーハウス
生活支援員
下山 美咲 (R3 1月1日)

ちどり 事務員
松田 紗緒里 (R3 1月6日)

ちどり 生活支援員
片山 真由美 (R3 1月12日)

障がい者アイセンター
生活支援員
小倉 玲奈 (R2 10月1日)

障がい者アイセンター
生活支援員
櫻井 ゆみ (R2 10月5日)

障がい者アイセンター
生活支援員
岡本 奈美 (R2 10月13日)

デイセンターなすな瀬戸
生活支援員
森寺 幸子 (R2 8月11日)

デイセンターなすな瀬戸
生活支援員
佐々木 智加子 (R2 9月1日)

デイセンターなすな瀬戸
看護士
森本 英美 (R3 1月1日)

とにかく明るく前向きに進みます。